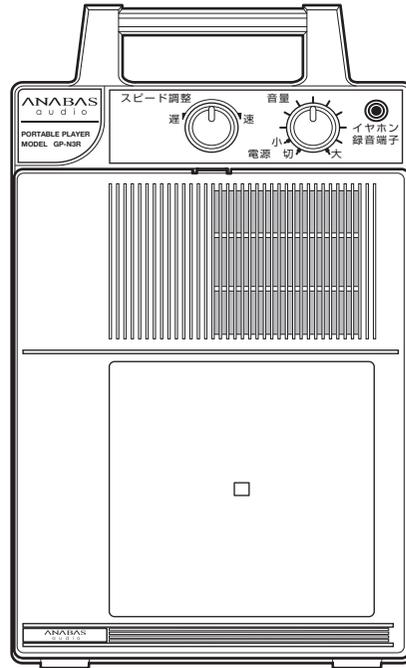


ANABAS  
audio

ポータブルプレーヤー  
GP-N3R  
取扱説明書

保証書付

本書の最終ページに保証書がございますので、内容をよくご確認ください。



ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

日本国内専用  
FOR USE IN JAPAN ONLY

お買い上げいただきありがとうございます。  
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。  
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

本製品はGP-3-Rの製造販売会社の  
了解を得て企画しています。

目次

● 安全上のご注意.....	2	● イヤホン・録音端子の使いかた.....	11
● 本機の特長.....	4	● イヤホンの使いかた.....	11
● 梱包品.....	4	● 録音のしかた.....	11
● ご使用の前に.....	5	● レコード針の交換.....	12
● レコードホルダーの取り付け.....	5	● お手入れ.....	13
● ドーナツ盤用アダプターの取り付け.....	5	● 本体のお手入れ.....	13
● 各部の名前.....	6	● ACアダプターの電源プラグのお手入れ....	13
● お使いになる前の準備.....	7	● 仕様.....	13
● 電源を準備する.....	7	● 故障かな?と思ったら.....	14
● レコード演奏のしかた.....	8	● 保証とアフターサービス.....	15
● 柱や壁に掛けて使用する.....	9	● アフターサービスについて.....	15
● 斜めに立て掛けて使用する.....	10		

# ● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

## ■【記号の意味】

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 <b>注意</b>	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
---	---------------------------------	---	--------------------------------

## ■【本文中に使われている絵表示の意味】

 <b>禁止</b>	 <b>分解禁止</b>	 <b>ぬれ手禁止</b>	 <b>水ぬれ禁止</b>	 <b>指示を守る</b>	 <b>プラグを抜く</b>
---	---	--	--	--	---

## ⚠ 警告



プラグを抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

ACアダプターの電源コードが傷んだり、ACアダプターが発熱したときは、ACアダプターが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



確実に差し込む

ACアダプターの電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。



プラグを抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



つぎのことを守る

ACアダプターの電源コードを取り扱うときは、次のことを守る

- ・傷つけない
  - ・延長するなど加工しない
  - ・加熱しない・引っ張らない
  - ・重い物を載せない・はさんだりしない
  - ・無理に曲げない・ねじらない
  - ・束ねたりしない
- 守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、ダクトやすき間から異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

## 警告



内部に水や異物等が入ったらすぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



ACアダプターの電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



次のような場所には置かない

- 風呂場など、水がかかったり、湿気が多い場所
  - 雨、きりなどが直接入り込むような場所
  - 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 炎天下の車内・ほこり、油煙の多い(調理場など)場所
  - 振動の強い場所
  - 腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
  - 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
  - ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 火災・感電の原因となります。

## 注意



円形レコード以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(ハート型、カード型など)をしたレコードを使用すると、高速回転によりレコードが飛び出し、けがの原因となります。



ひびわれ、変形、接着剤で補修したレコードを使用しない

高速回転によりレコードが飛び出し、けがの原因となります。



レコードが回転中は手を触れない

回転中にレコードに触れるとけがの原因になります。



機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



長時間ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから抜く

指示を守る 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



持ち運ぶときは、ACアダプターをコンセントから抜き、ACアダプターのDCプラグは本体から抜く

コードが傷つき、けがや火災・感電の原因となります。



ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、ACアダプターを持って引き抜く

指示を守る コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



ACアダプターは容易に手が届くコンセントに接続する

指示を守る 主電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。



音量に注意

指示を守る

- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

指示を守る スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

指示を守る

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機に結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時はACアダプターを抜き、1時間ほどその状態で放置し結露が取れてからご使用ください。

## ⚠ 注意



乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

- 指示を守る
- 単1形乾電池以外の電池は使用しない
  - 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
  - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
  - 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
  - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
  - 使い切った乾電池は、リモコンから取り出す
  - 水に濡らしたり、濡れた手で触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。  
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。  
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

### ■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

### ■ 著作権について

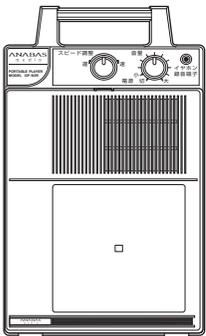
- 音楽、映像などは著作権法により、その著作物および著作権者が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製、改変などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## ● 本機の特長

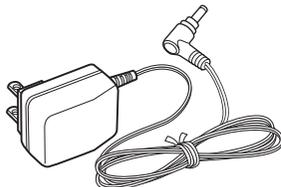
- レコードの回転するスピードを調整できます
- 17cmレコードはセットを柱や壁にかけても、斜めに立て掛けてもレコードの演奏ができます。
- 持ち運びに便利なポータブルプレーヤーです。
- ACアダプター（一般家庭用電源AC100V）または乾電池（単1形電池）で使えます。電源は自動切換方式です。
- イヤホン兼録音端子付きです。

## ● 梱包品

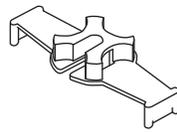
ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



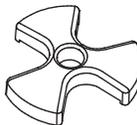
ポータブルプレーヤー  
GP-N3R(本機)



ACアダプター



レコードホルダー



ドーナツ盤用アダプター

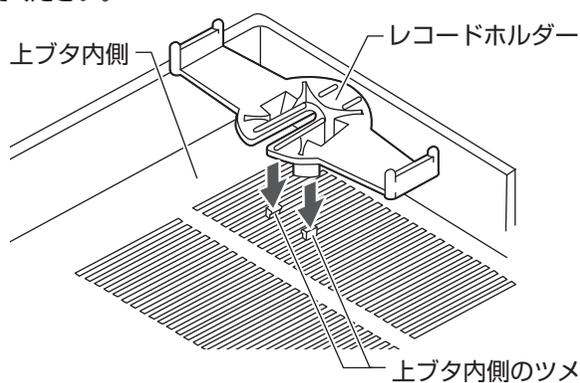


保証書付き取扱説明書  
(本書)

# ● ご使用の前に

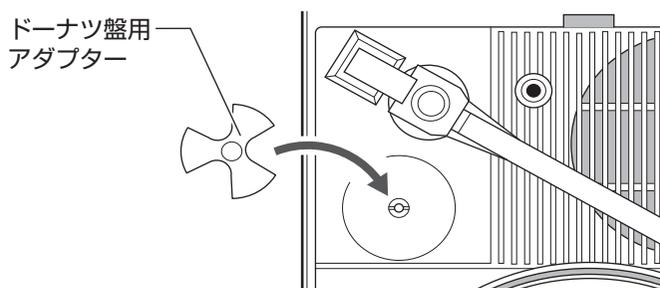
## ● レコードホルダーの取り付け

ご購入時、レコードホルダーは付属品として梱包されています。レコードホルダーをご使用にならないときは、本体上ブタ内側のツメに取り付けてください。

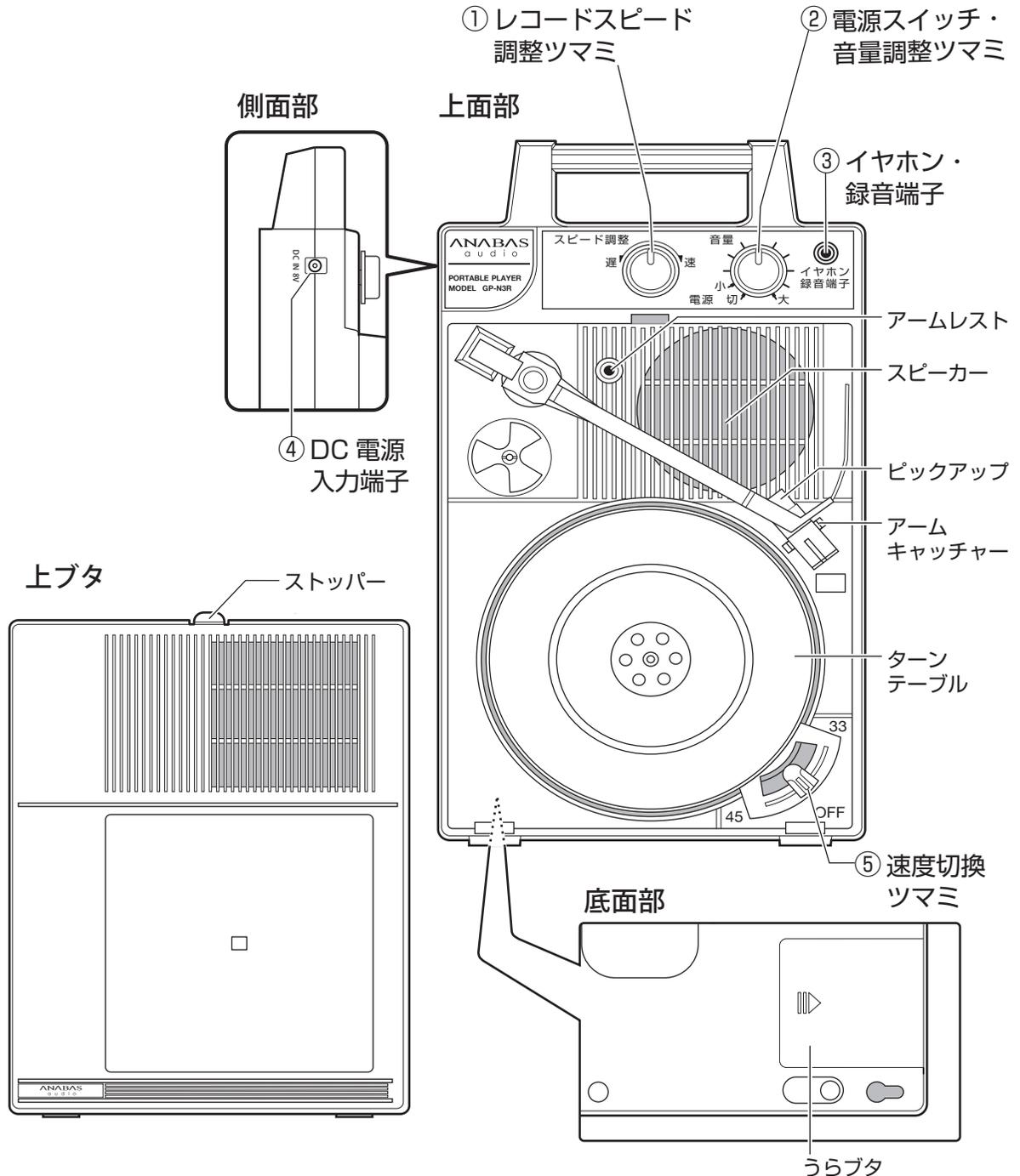


## ● ドーナツ盤用アダプターの取り付け

ご購入時、ドーナツ盤用アダプターは付属品として梱包されています。ドーナツ盤用アダプターをご使用にならないときは、本体に取り付けてください。



# ● 各部の名前



## ① レコードスピード調整ツマミ

レコード演奏の時に回転速度を調整するツマミです。ツマミの回転の中央で、レコードの回転は定速になります。ツマミを右に回すとレコードの回転が速くなり、ツマミを左に回すとレコードの回転が遅くなります。スピードの変化範囲は、約5%です。

## ② 電源スイッチ・音量ツマミ

ツマミを右に回すと、「カチッ」と音がして電源が入ります。さらにツマミを右に回すと音量が大きくなります。ツマミを左に回すと音量が小さくなります。ツマミを左に回しきると、「カチッ」と音がして電源が切れます。

### ③ イヤホン・録音端子

お持ちのイヤホンまたはヘッドホンのΦ3.5mmステレオミニプラグを接続します。

レコードの音をカセットなどに録音する場合、Φ3.5mmステレオミニプラグの接続コードで録音する機器と接続します。

※ プラグをこの端子に接続するとスピーカーから音は出なくなります。

### ④ DC電源入力端子

付属ACアダプターのDCプラグを接続します。

### ⑤ 速度切換ツマミ

ターンテーブルの回転数をレコードで指定された回転数に合わせるツマミです。キャビネットに表示されている数字にツマミを合わせてください。

※ レコードを演奏しないときは、ツマミは必ずOFFの位置に合わせてください。

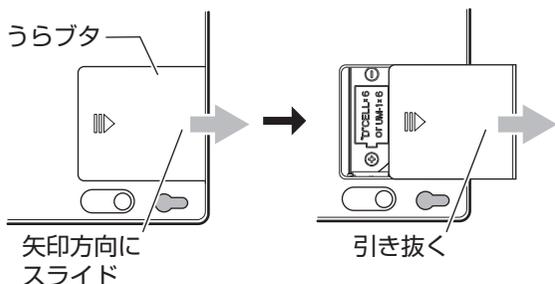
## ● お使いになる前の準備

### ● 電源を準備する

家庭用電源または乾電池のいずれかで使用します。

#### ● うらぶたを外す

1. 本機底面のうらぶたを矢印方向にスライドさせ、引き抜きます。

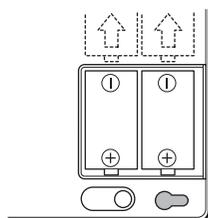


#### ● 乾電池を使う場合



※ 電池は付属されていません。単1形アルカリ乾電池を推奨いたします。単1形アルカリ乾電池を6本お買い求めください。

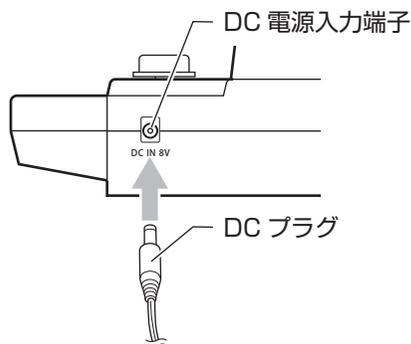
1. 単1形乾電池の極性(⊕⊖)を確かめながら、乾電池を6本電池ケースに入れます。



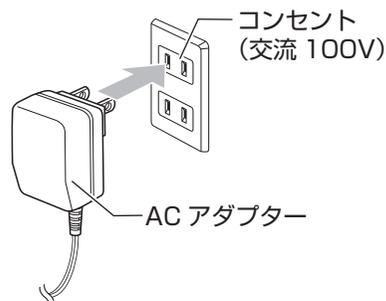
2. うらぶたを閉めます。

### ● ACアダプターを使う

1. 本体側面のDC電源入力端子に付属ACアダプターのDCプラグを接続します。



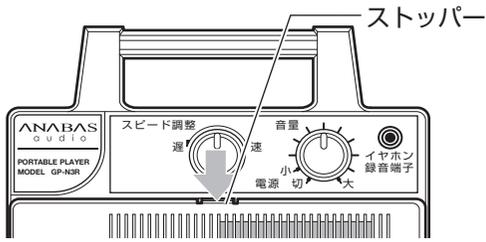
2. 付属ACアダプターを交流100Vのコンセントに接続します。



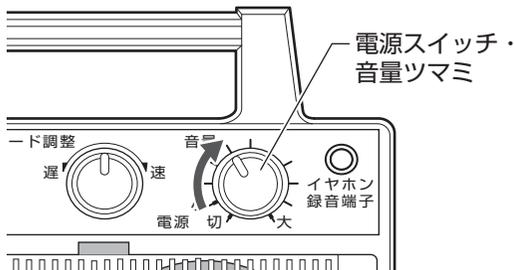
※ 濡れた手でACアダプターの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。  
※ 万一の事故防止のため、すぐにACアダプターを抜くことができるコンセントに接続してください。

# ● レコード演奏のしかた

1. 上ブタのストッパーを矢印方向に押しながら、上ブタを持ち上げて、外します。

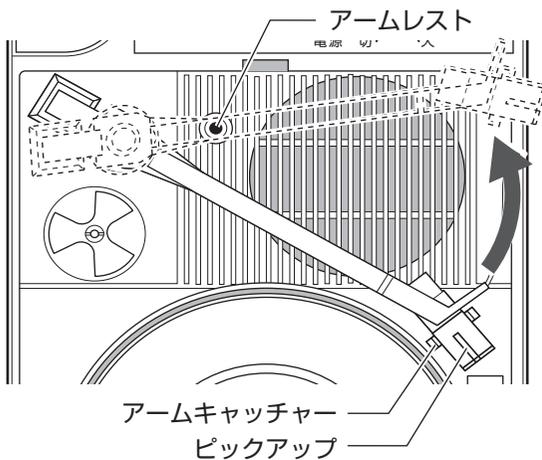


2. 電源を入れるには、電源スイッチ・音量つまみを右に回します。

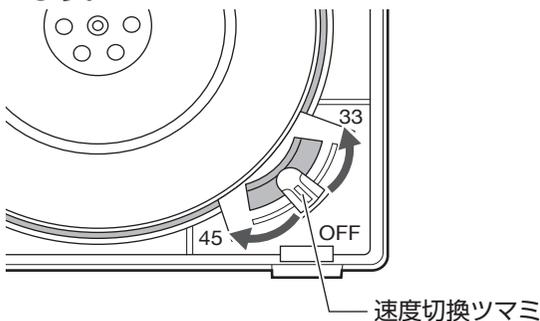


● つまみを右に回すと、「カチッ」と音がして電源が入ります。

3. ピックアップをアームキャッチャーから外し、アームレストに乗せます。



4. 速度切換つまみをレコードの回転数に合わせます。



※ SPレコード(78回転)には対応しておりません。

5. レコードをターンテーブルに乗せます。

- ドーナツ盤を演奏するときは、ドーナツ盤用アダプターをお使いください。
- 本セットを斜めに立て掛けて使うことができます。斜めに立て掛けてお使いの場合は、付属のレコードホルダーをセンタースピンドルに差し込んでレコードを押さえてください。詳しくは、「斜めに立て掛けて使用する」(10ページ)をご覧ください。

6. ピックアップを持ち上げ、ピックアップの針先をレコードに静かに乗せます。

- ピックアップを持ち上げると、ターンテーブルが回り始めます。

7. 電源スイッチ・音量つまみを回して、好みの音量に調整します。

8. 演奏が終わりましたら、ピックアップをアームレストに戻します。

- ピックアップをアームレストに戻すと、ターンテーブルは止まります。

9. レコードを演奏しないときは、次のことを行ってください。

1. 電源スイッチ・音量つまみを左に回しきり電源を切ります。
2. ピックアップをアームキャッチャーに戻します。
3. 速度切換つまみを「OFF」に合わせます。



※ レコードを演奏しないときは、レコードホルダーをセンタースピンドルに付けたまま放置しないでください。

※ フィルムレコードを演奏するときにレコードがスリップする場合は、ドーナツ盤用アダプターをフィルムレコードの上に乘せてください。フィルムレコードの演奏は、なるべくセットを水平にした状態で行ってください。

## ● 柱や壁に掛けて使用する

17cmレコードは、セットを柱や壁に横や縦に掛けても演奏できます。

柱や壁に掛けてお使いの場合は、付属のレコードホルダーをお使いください。

### ● セットを縦に掛ける場合

#### 1. セット底面の壁掛け穴の位置に合わせ、柱や壁に2本の長めのクギ等をしっかり打ち込みます。



※ セットを掛ける柱や壁等は十分な強度があるか事前にご確認ください。強度が不足していると、壁や柱等を破損したり、セットが落下して故障やケガの原因となります。

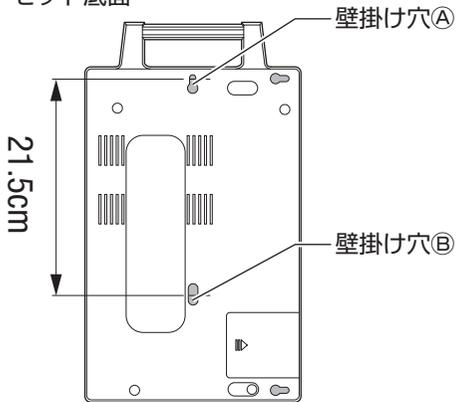
※ 細すぎるクギを使用しますと、セットの重量に耐えられません。

- 打ち込むクギの高さは、最大1.45cmにしてください。
- 使用するクギの頭の直径は、最大8mmにしてください。

#### ■ セットを縦に掛ける場合

- セット底面の壁掛け穴のAとBを使用します。
- 打ち込むクギの間隔は、21.5cmにしてください

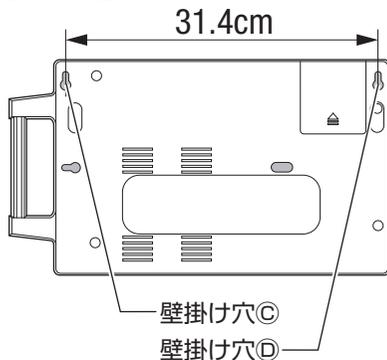
セット底面



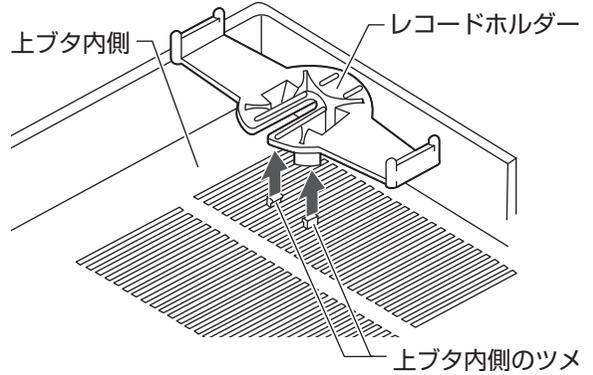
#### ■ セットを横に掛ける場合

- セット底面の壁掛け穴のCとDを使用します。
- 打ち込むクギの間隔は、31.4cmにしてください

セット底面



#### 3. 付属のレコードホルダーを上ブタの内側から外します。



#### 4. 17cmレコードをターンテーブルに乗せます。



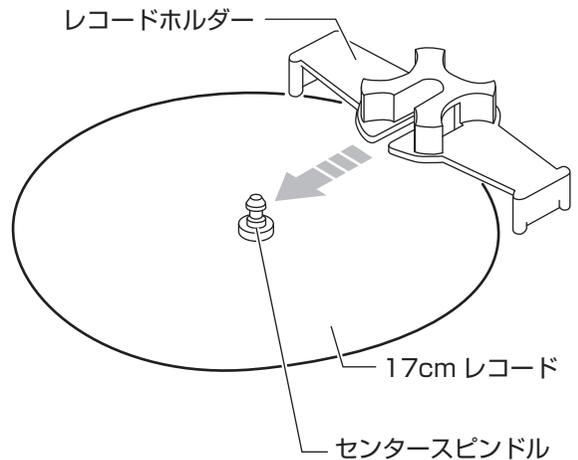
※ 30cm LPレコードは、レコードがセットからはみ出しますので、乗せないでください。

※ SPレコード(78回転)には対応しておりません。

#### 5. 付属のレコードホルダーをセンタースピンドルの溝に差し込みます。



※ 付属のレコードホルダーのセンタースピンドルへの取り付け・取り外し時には、レコードホルダーがレコードの音溝に振れないようにしてください。



#### 6. レコードを演奏します。



※ レコードを演奏しないときは、レコードホルダーをセンタースピンドルに取り付けたまま放置しないでください。レコードホルダーは上ブタの内側に戻して保管してください。

※ 傷があるレコードを壁掛けで使用すると針飛びが起きやすくなります。針飛びが起きるときはセットを水平にしてお使いください。

#### 2. セットを柱や壁に掛けます。

## ●斜めに立て掛けて使用する

17cmレコードは、セットを斜めに立て掛けても演奏できます。

斜めに立て掛けてお使いの場合は、付属のレコードホルダーをお使いください。

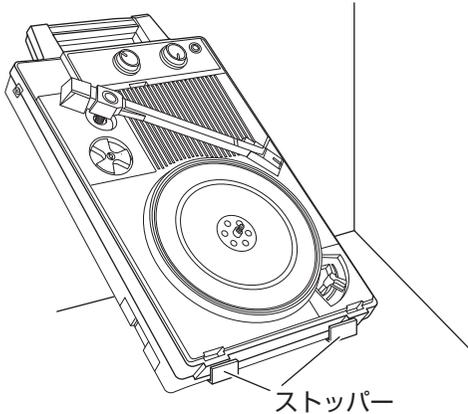
### 1. セットを縦または横に立て掛けます。



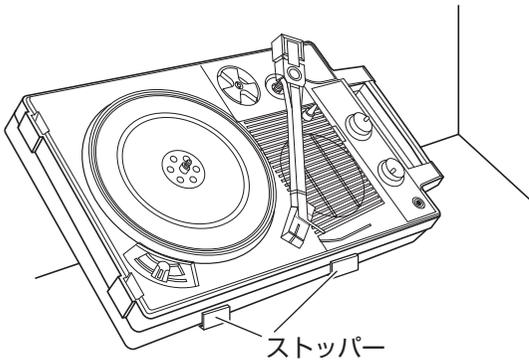
※ 立て掛けて使用する場合は、セットの倒れ防止のため、ストッパー等を使用してください。

※ ストッパーは付属していません。

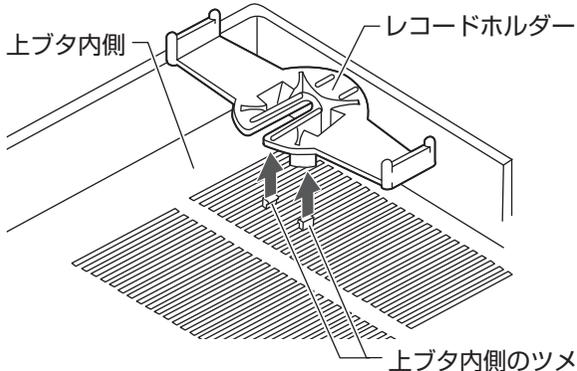
- セットを縦に立て掛ける場合



- セットを横に立て掛ける場合



### 2. 付属のレコードホルダーを上ブタの内側から外します。



### 3. 17cmレコードをターンテーブルに乗せます。



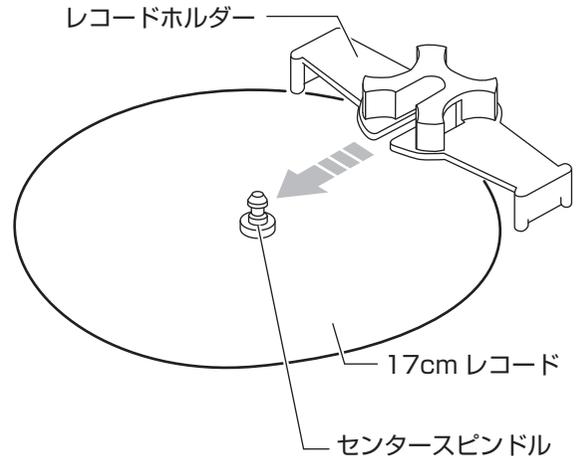
※ 30cm LPレコードは、レコードがセットからはみ出しますので、乗せないでください。

※ SPレコード(78回転)には対応していません。

### 4. 付属のレコードホルダーをセンタースピンドルの溝に差し込みます。



※ 付属のレコードホルダーのセンタースピンドルへの取り付け・取り外し時には、レコードホルダーがレコードの音溝に振れないようにしてください。



### 5. レコードを演奏します。



※ レコードを演奏しないときは、レコードホルダーをセンタースピンドルに取り付けたまま放置しないでください。レコードホルダーは上ブタの内側に戻して保管してください。

# ● イヤホン・録音端子の使いかた

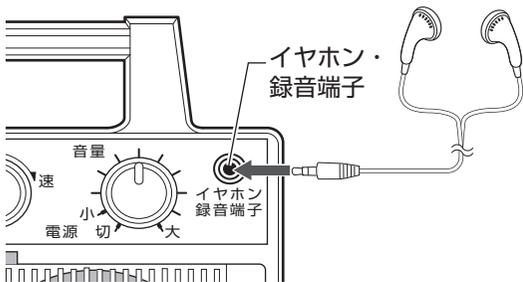
## ● イヤホンの使いかた

イヤホン・録音端子とお持ちのイヤホンまたはヘッドホンを接続すると、ステレオで音楽をお楽しみいただけます。



※ イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

1. 電源スイッチ・音量つまみを左に回し、音量を最小にします。
2. イヤホン端子にΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンケーブルを接続します。

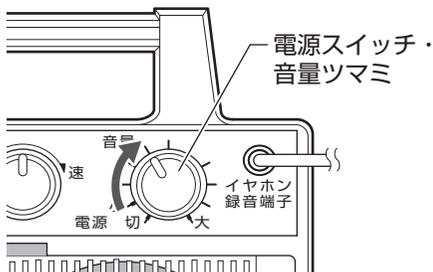


● イヤホンまたはヘッドホンケーブルが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

3. レコードを演奏します。
4. 電源スイッチ・音量つまみをゆっくり右に回し、聴きやすい音量にします。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出して耳を傷めるおそれがあります。



## ● 録音のしかた

イヤホン・録音端子とお持ちの外部入力端子があるラジオカセットレコーダーなどの録音機器を接続し、レコードの音を録音することができます。

### ● 準備

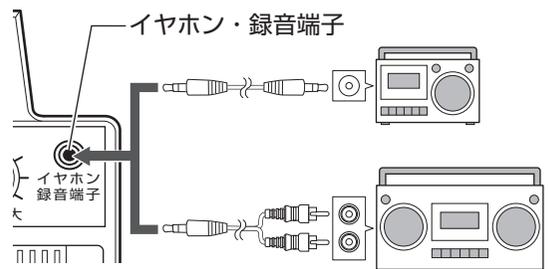
片側がΦ3.5mmのステレオミニプラグ、もう一方は録音機器の入力端子に接続できる端子形状の接続コードを準備します。



※ 録音用の接続コードは付属していません。市販の接続コードをお買い求めください。

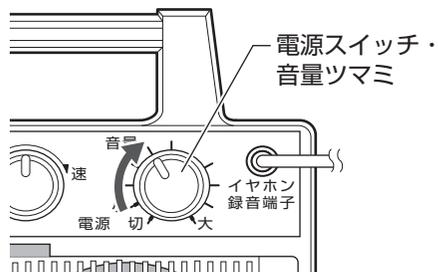
### ● 録音

1. イヤホン端子に接続コードのΦ3.5mmステレオミニプラグを接続し、もう一方のプラグを録音機器に接続します。



● プラグが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

2. 電源スイッチ・音量つまみをゆっくり右に約1/3回します。



3. レコードを演奏します。

# ● レコード針の交換

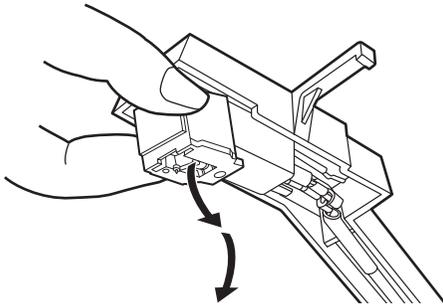
※ レコード針は約400時間ほど使用しますと、音質が悪くなりレコードを痛めます。レコード針は早めに取り換えてください。



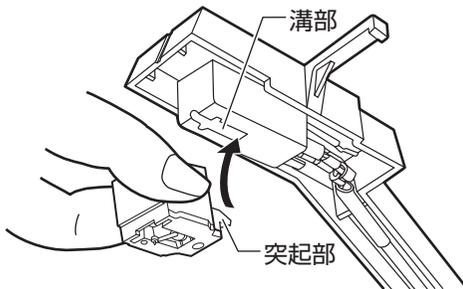
※ レコード針はオーディオテクニカ社製の交換針 ATN-3600L をご使用ください。他のレコード針は使用しないでください。

※ レコード針の詳しい交換方法は、交換針 ATN-3600L の説明書をご覧ください。

**1.** 針を取り外すときは、針ホルダーの先を少し押し下げてから下方に抜き取ります。



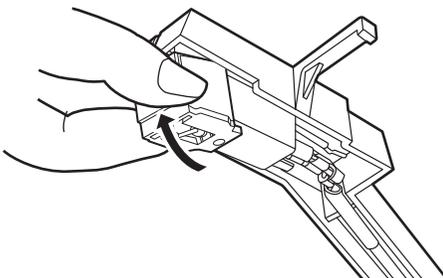
**2.** 針を取り付けるときは、針ホルダー後端の突起部をカートリッジ溝部後端に差し込みます。



**3.** 先端を図のように矢印方向に軽く押し込みます。



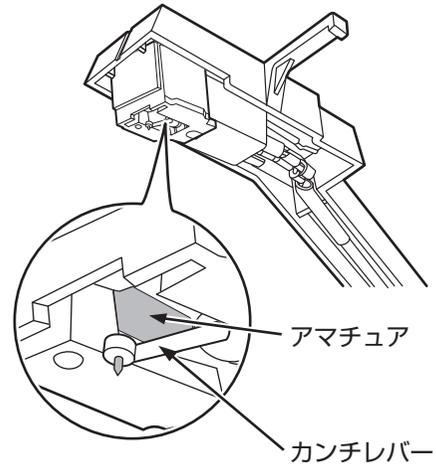
※ 取り付け時には、針先やカンチレバー、アマチュアに不要な力を加えないようにご注意ください。



**4.** 取り付け後、針のカンチレバーがアマチュアの溝に正しく収まっていることを確認します。



※ カンチレバーが正しい位置にないと、特性がいちじるしく悪くなりますので、ご注意ください。



# ● お手入れ

⚠ ※ お手入れの前に必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

## ● 本体のお手入れ

- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
- ※ メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
- ※ みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

## ● ACアダプターの電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- ※ みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

# ● 仕様

品名	ポータブルプレーヤー
型式	GP-N3R
本体部	
電源 (自動切換方式)	ACアダプター(入力:100V ~ 50/60Hz、出力:DC8V $\overline{\text{---}}$ 350mA) DC 9 V (単1形乾電池×6本) ※乾電池は別売り
消費電力	4W (待機時 1.2W)
外形寸法	約220(幅)×385(奥行き)×73(高さ)mm (突起部含まず)
質量	約1.3kg (乾電池含まず)
付属端子	イヤホン・録音端子
付属品	ドーナツ盤用アダプター 1個、レコードホルダー 1個、ACアダプター 1個、取扱説明書(保証書付き:本書)
プレーヤー部	
型式	2スピードプレーヤー
回転数	33 1/3rpm、45rpm
付属機構	回転スピード調整機構(±5%以上)
トーンアーム	ダイナミックバランス型
カートリッジ	オーディオテクニカ社製 AT-3600LA
使用針	オーディオテクニカ社製 ATN-3600L
モーター	DCモーター
駆動方式	ベルトドライブ
ターンテーブル	17cm
スピーカ部	
スピーカ	10cm (8Ω)、2W

※本機の外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは行っておりません。

# ● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。  
それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。 (ACアダプター使用時)	● ACアダプターの電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
電源が入らない。 (乾電池使用時)	● 電池の極性(⊕、⊖)が正しいか確認してください。また、電池を使い切っていないか確認してください。
ターンテーブルは回転するが、音が出ない。	● ツマミやスイッチが正しい位置に合っているか確認してください。
音声が聴こえない。	● 音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。
レコード演奏の時、音がザラついたり、「チリチリ」という音がする。また高音部が澄んでいない。	● 針先にホコリがついていないか確認してください。針先のホコリは、柔らかいブラシか筆の穂先でそっと落としてください。 ● 針が正しく取り付けられているか確認してください。針は緩みの無いようにしっかりと取り付けてください。 ● レコードにホコリがついていないか確認してください。レコードについてのホコリは、市販のレコードクリーナーまたは水を含ませたガーゼなどできれいに拭き取ってください。 ● レコードまたは針が痛んでいないか確認してください。針は新しいものと交換してください。
「ワーン」という音が出る。 (ハウリング現象)	● ハウリングは、スピーカーの振動がプレーヤーに伝わって起こる現象です。音量を下げる、またはセットの設置場所を変えてください。
スピーカーから音声が聴こえない。	● イヤホンまたはヘッドホンがイヤホン・録音端子に接続されていませんか。イヤホンまたはヘッドホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
アマチュア無線が混入する。	● 近くにアマチュア無線局があります。「アフターサービスについて」(P.15)をご覧ください。お問い合わせください。

# ● 保証とアフターサービス

## ● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などをご記入のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## ● 補修性能部品の保有期間

- 本機の補修性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては下記のご連絡先までご相談ください。

## ● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## ● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、下記のご連絡先までご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

## ● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、弊社にて修理させていただきます。  
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

## ● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、下記のご連絡先までご相談ください。  
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は下記のご連絡先までご相談ください。

## ● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、下記のご連絡先までお問い合わせください。

### 持込み先または送付先

株式会社太知ホールディングス  
サービスセンター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階

☎ 03-5846-7211

### メールでのお問い合わせ

E-mail :

taichitky@anabas.co.jp

ホームページ :

<http://www.taichi-holdings.com>

### 電話でのお問い合わせ

☎ 03-5846-7211

### 受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

## ● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

## ● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技 術 料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
-------	------------------------

部 品 代	修理に使用した部品代金です。
-------	----------------

### 愛情点検



このような  
症状はあり  
ませんか?

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体がいつもより異常に熱い。
- その他異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

株式会社 太知ホールディングス  
**TAICHI HOLDINGS LIMITED**  
<http://www.taichi-holdings.com>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階  
お問い合わせ先: 電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639